

# 市民(NPO 法人神奈川県環境学習リーダー会)による

## 環境科学センターと連携した取組み

○田口繁雄 (NPO 法人神奈川県環境学習リーダー会)

環境科学センターが開催している「環境学習リーダー養成講座」を修了した市民達により創設した当リーダー会は、長年にわたって環境保全活動を行ってきた。

近年、この活動で得た経験やノウハウを基に環境科学センターが実施している市民への環境学習等に参画して効果を上げているので、この状況について紹介する。

### 1 はじめに

NPO法人神奈川県環境学習リーダー会(以下「リーダー会」という。)は、平成5年から開始された神奈川県環境科学センター(以下「県環境科学センター」という。 )「環境学習リーダー養成講座」を修了した市民が平成8年に「神奈川県環境学習リーダー連絡会」を立ち上げ、平成19年度に現在のNPO法人となった。会員は、環境学習リーダー養成講座修了者を主体に環境に熱い思いを持った人々によって構成され、会員の多くは神奈川県在住で約100名である(平成28年10月現在)。

尚、リーダー会の目的は、「この法人は、地域の環境学習活動や環境保全活動に関する事業を行い、環境の保全に寄与することを目的とする。」(定款より)とされている。この目的を達成するためにリーダー会は、毎月開催している理事会が運営を担い、会計、事務局、広報部がそれぞれ経理、事務、広報を担当している。実際の環境保全活動は「子どもサイエンス」、「エネルギー」、「大気環境」、「水環境」、「グリーン」、「自然環境」と「廃棄物」の7部会が部会長を中心に活動している。

### 2 環境活動の取組み

リーダー会の活動は、会の目的を達成するために①行政機関などが実施する環境学習への講師派遣、②地域での環境体験教室の開催、③県、市、区などが小・中学校へ展開している環境学習への出前授業、④行政機関、地域環境団体などが、市民への環境保全啓発のために開催する環境フェア等への展示や出展、⑤環境の変化を把握するための継続した環境測定、⑥次世代への環境保全活動が繋がるよう、各地域での活動を担う環境リーダーの養成講座をリーダー会独自に開設、そして⑦他の組織と連携し、環境活動実践者同志の交流や市民への環境活動の紹介のため「市民環境活動報告会」などを開催している。

これにより将来を託す子どもたちと市民のために、持続可能な社会の実現を目指している。

### 3 県環境科学センターとの連携についての考え方

リーダー会は、県環境科学センターが実施している「環境問題に意識が高い県民が自発的に学びを実践できる場を提供することが大切と考え、生涯学習としての環境学習に取り組んでいる」ことに賛同し、いろいろな方法で連携している。

## 4 環境学習への講師派遣

県環境科学センターからの依頼により市民の立場の講師を派遣している。

### 4. 1 環境活動実践講座への講師派遣

#### 4. 1. 1 平成 27 年度

「環境調査手法を習得して地域環境保全を実践！」をキャッチフレーズに5月30日から6月27日までの5日間開催された講座のうち3講座に延べ13名の講師を派遣した。

- 6月6日(土)「実践可能な水質、大気の簡易測定手法」(実習)
- 6月13日(土)「実践可能な大気の簡易測定手法」(実習)
- 6月27日(土)「環境調査計画の企画技法」(実習、WS(ワークショップ))

上記講座の大気環境の簡易NO<sub>2</sub>測定では、受講者の自宅付近で採取した試料の測定を行い、WSでは水質、水生生物、植物、大気の4班に分かれて集団討議を行った。

#### 4. 1. 2 平成 28 年度

5月28日から6月25日までの5日間開催された講座のうち下記の個別講座に5名の講師を派遣した。

■ 6月25日(土)「環境保全上の課題と実際に調査を行う方法について学ぶ」をテーマに開催された。午前の講座では、県環境科学センター職員による「大気の簡易測定」、午後の講座は当会の派遣講師により環境調査を行う際の調査計画の立て方、手法や手順などについて説明した。また、両講座の実習には5名の派遣講師もスタッフとして参加し、良い実務経験となった。

### 4. 2 環境学習リーダー養成講座への講師派遣

「あなたも環境実践活動を地域に広める指導者になりませんか！」をキャッチフレーズとして開催されている「環境学習リーダー養成講座」へ講師を派遣している。リーダー会会員もこの講座修了者が多い。なお、平成28年度は10月から開講される。

#### 4. 2. 1 平成 27 年度

全7回の講座の中で下記の午後の講座へ4名の講師を派遣した。

- 10月24日(金)PM「大気環境学習の手法」

リーダー会が子どもや親子向けに実施している実験内容を受講生が体験するとともに、環境学習を楽しくわかりやすく行うための留意点などを説明した。

#### 4. 3 市町村環境学習担当者研修への講師派遣

県環境科学センターが県内各自治体の環境学習担当職員を対象に、環境教育関連法令や環境学習事業に活用可能な実践例の習得等を目的とした研修に講師を派遣している。

##### 4. 3. 1 平成 27 年度

5月22日に開催された研修へ5名の講師を派遣した。

###### ■ 5月22日(金)

午前はリーダー会の活動を紹介し、「環境と水、地球温暖化」をテーマとして環境体験教室の説明と実習を行った。午後はリーダー会代表理事の柳川より、「地域環境を生かした環境教育のあり方」をテーマに、地域の人々と行政が共に活動することの大切さを中心に講演を行った。

##### 4. 3. 2 平成 28 年度

5月20日に開催された研修へ5名の講師を派遣した。

###### ■ 5月20日(金)

最初にリーダー会の環境活動全般について紹介した後、ルーペ式顕微鏡を製作し、この顕微鏡でタマネギなどの表皮の細胞や気孔を観察し、植物観察の意義を解説した。合わせて「下水道の浄化の仕組みと微生物の観察」と題して、下水処理場で活躍する微生物について解説と観察を行った。

#### 4. 4 小学校の校外授業への講師派遣

県環境科学センターで行われた小学校の校外授業に4名の講師を派遣した。

###### ■ 平成 27 年 9 月 9 日(水)

県環境科学センターで行われた校外授業において、平塚市立金田小学校5年生87名に対して、リーダー会は、地球温暖化防止や自然界の水循環への理解を目的とした「省エネルギーの座学」と「人工の雲を作る実験」を行った。

#### 5 夏休み子ども環境体験教室の開催

リーダー会は夏休みに、「かながわサイエンスサマー」の講座として、環境に関連した体験教室を県環境科学センターと共催で毎年開催している。

##### 5. 1 平成 27 年度

平成 27 年度は、1 教室定員 24 名で小学校 4 年生～6 年生とその保護者を対象に、次の日程で 6 日間 7 教室を開催した。

###### ■ 7 月 31 日(金)午前「身近なもので電池を作ろう」

###### ■ 8 月 1 日(土)午前「育てた植物で自分だけのはがきを作ろう」

###### ■ 8 月 3 日(月)午前、6 日(木)午後「人工の雲をつくろう」

###### ■ 8 月 4 日(火)午前「手作り顕微鏡で生き物を観察しよう」

- 8月5日(水)午前「空気についてしらべよう」
  - 8月6日(木)午前「いろいろな方法で発電してみよう」
- 夏休みに入った多くの子どもたちに工作や実験の機会が与えられた。

## 5. 2 平成28年度

平成28年度も、1教室定員24名で小学校4年生～6年生とその保護者を対象に、次の日程で6日間9教室を開催した。

- 7月29日(金)午前と午後「人工の雲をつくろう」
  - 8月1日(月)午前「身近なもので電池を作ろう」
  - 8月2日(火)午前「森の木工クラフトで森を考えよう」
  - 8月3日(水)午前「汚れた水をきれいにしよう」
  - 8月3日(水)午後「手づくり顕微鏡で生き物を観察しよう」
  - 8月4日(木)午前「空気についてしらべよう」
  - 8月4日(木)午後「プラスチックのリサイクル実験教室」
  - 8月5日(金)午前「いろいろな方法で発電してみよう」
- 去年が好評だったため2教室を増やした。

## 6 県環境科学センター「スキルアップ講座」の受講

リーダー会会員は、ボランティア活動する市民として、さらなるレベルアップを図るために県環境科学センターが開催する「スキルアップ講座」を受講している。

平成27年度には、8月13日(木)に「県内における微小粒子状物質(PM2.5)の実態」について調査研究部の研究員、「大気汚染予測システムと大気汚染物質の濃度予測」について、国立研究開発法人 国立環境研究所の菅田誠治主任研究員の講演をリーダー会会員20名が受講した。

平成28年度には、7月14日(木)「都市環境を考える～持続可能な都市をめざして～」のテーマで、国立研究開発法人 国立環境研究所の藤井実主任研究員の講演をリーダー会会員21名が受講した。

## 7 市民環境活動報告会の開催

市民環境団体などの活動の結果や紹介を目的に、毎年リーダー会ほか他2団体と共催で県の後援を得て「市民環境活動報告会」を開催している。平成27年度は平成28年3月9日に開催され、76名が参加され熱心な議論が行われた。

## 8 おわりに

今後とも県環境科学センターとは、更に連携を進めていきたいと考えている。